



# SEIG LIB-NEWS

2019年6月5日発行  
聖学院中学校高等学校  
図書委員会

## Topics

中学図書委員長になったT君、  
小説などの本をたくさん読みます。  
好きな小説は「四畳半神話大系」、  
森見登美彦著です。  
初めて委員長という仕事を始めて、  
少し緊張しています。  
これから頑張りたいと思います。

Ⓞ・高校 3年 A組 氏名 T.O.

## おすすめの本

書名 日本が1日に起きていることを調べてみた

著者 宇田川勝司 請求記号 351U

この本を選んだ理由は、みんなが興味  
を持ちそうな内容だったからです。例えば、全  
国の自販機で販売されるドリンクはなん  
と約4200万本にもなります。すごい本数ですね。

Ⓞ・高校 2年 C組 氏名 T.S.

## おすすめの本

書名 ホスト・イン? 野球のボールを光速で投げたらどうなるか

著者 ランドール・マンロー 請求記号 404-M

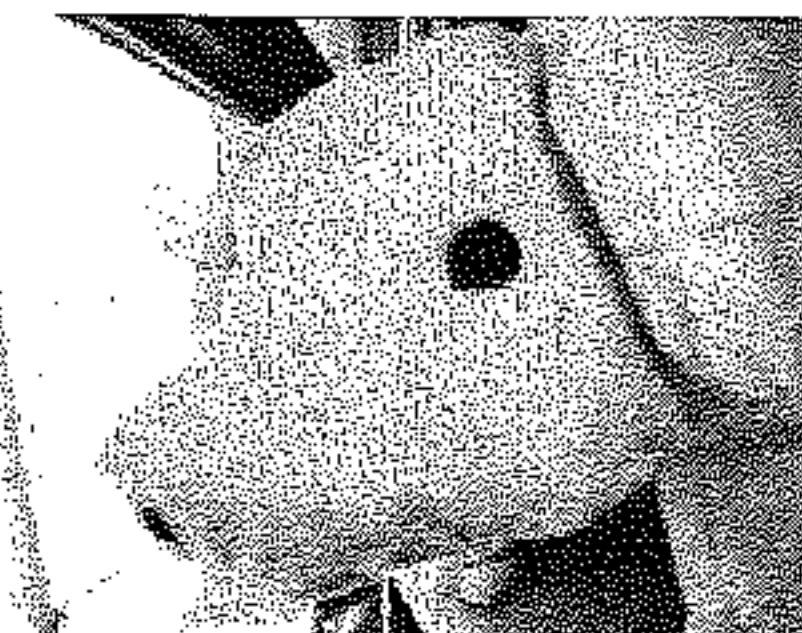
この本は、Webサイト「WHAT IF」に寄せられた質問に対し  
て答えている本です。例えば、「野球ボールを光速で投げたら  
どうなるか」という質問の答えは、あまりの速さに核融合反応が  
起き大爆発。バッターは「死球」を受けたと判断され、一塁に  
進めず。このように、他にも面白い質問と解答があります。  
皆さんもぜひこの本を読んでみてください。

中(高校) 1年 A組 氏名 K.Y.

## 体育祭 開催す!

5月30日・31日と、体育祭が開催されました。

図書館にて、当日の写真を上映しています。熱き戦いをご覧ください!



グラウンドを見守る館長

## 感想～中2日本史の授業で図書館を利用して～

日本史の授業で徳川家康のことを調べました。仮説から結論にできたのは、図書館の本があったからです。たくさんの本があり、先生方もとても分かりやすく説明してくれてよかったです。

中2-B N.H.

## 7月6日(土) 開催トークライブ「編集者のお仕事」 カウンターにてチケット配布を開始!

文藝春秋「オール讀物」編集長の大沼貴之さんをお招きして、「編集者のお仕事」というテーマでお話しして頂きます。大沼さんは、「直木賞」の選考委員会において司会の労を取られている方です。作家と編集者との具体的なやりとりや、直木賞の決定に至るまでのエピソードなどを存分に語って頂きます。

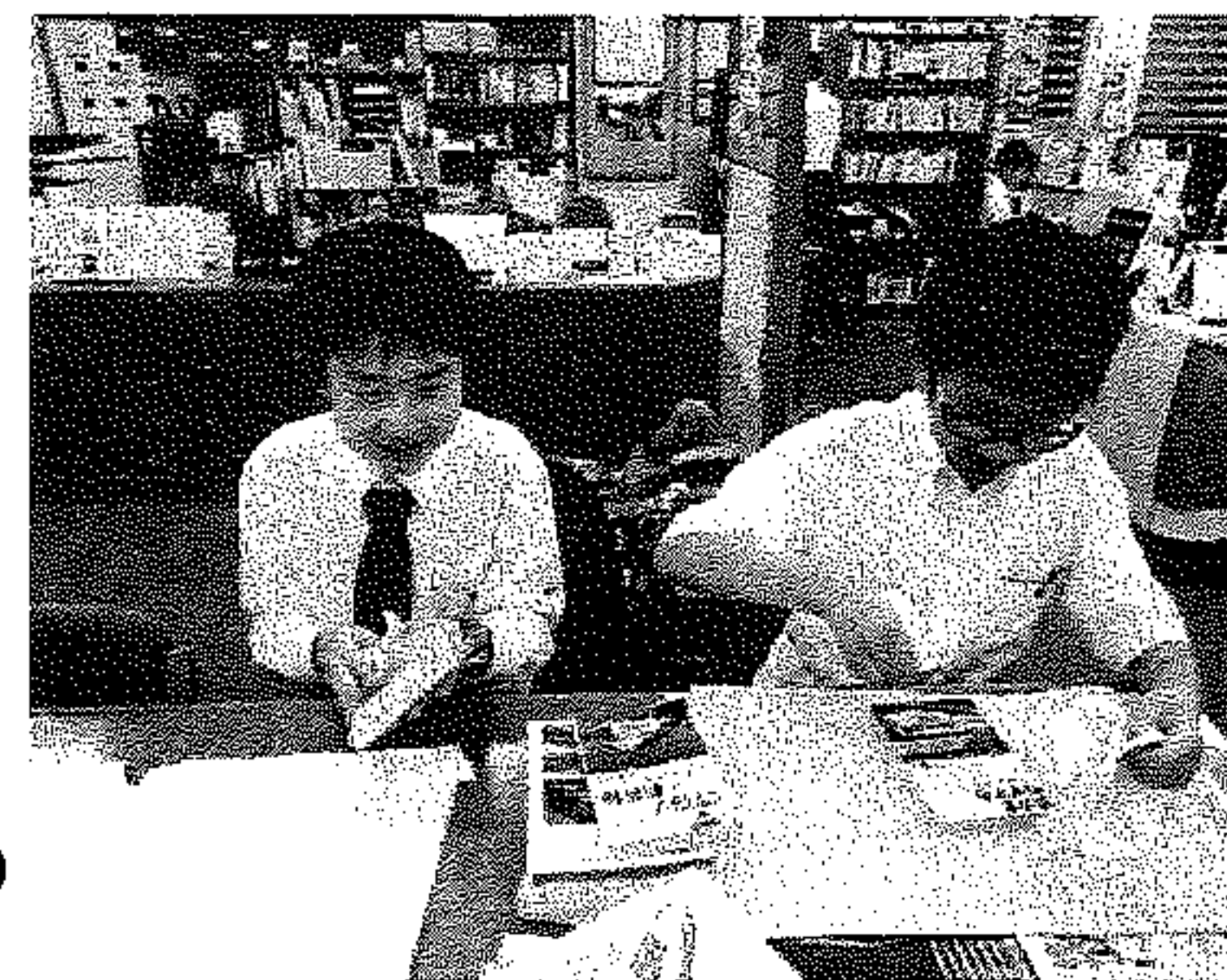
【日時】 2019年7月6日(土) 午後1時～2時30分 (開場 12時30分)

ありがとう

## 図書館サポーターの活動!

昼休みや放課後に  
図書館のお仕事を手伝って  
くれます。

本のクリーニングの作業です  
おかげできれいになりました♡



57 理科I先生 → 58 国語科U先生 → 59 数学科H先生 → 情報科I先生 → 61 理科I先生 → 62 英語科N先生 → 63 美術科I先生 → 64 英語科H先生 → 65 理科I先生 → 66 数学科K先生 → 67 理科I先生 → 68 技術科T先生 → 69 英語科S先生 → 70 国語科M先生 → 71 英語科I先生 → 72 国語科U先生 → 73 英語科T先生 → 74 英語科K先生 → 75 英語科H先生 → 76 英語科S先生 → 77 英語科M先生 → 78 英語科I先生 → 79 英語科U先生 → 80 英語科T先生 → 81 英語科K先生 → 82 英語科H先生 → 83 英語科S先生 → 84 英語科M先生 → 85 英語科I先生 → 86 英語科U先生 → 87 英語科T先生 → 88 英語科K先生 → 89 英語科H先生 → 90 英語科S先生 → 91 英語科M先生 → 92 英語科I先生 → 93 英語科U先生 → 94 英語科T先生 → 95 英語科K先生 → 96 英語科H先生 → 97 英語科S先生 → 98 英語科M先生 → 99 英語科I先生 → 100 英語科U先生

◎先生方のリレーエッセイ◎ 第69回

英語科 Teresa Shioda 先生

To be honest, when I was younger, I didn't really spend time reading novels. In Junior High, I was the editor of the school's newspaper and so I spent a lot of time reading the local newspaper for ideas, writing stories that I thought would be interesting to other students and editing my friends' articles as well as designing the style of the paper.

In high school, I had a few free periods during the school week, so I volunteered to work in the library where I helped organize the books and newspapers, and helped other students find the books they were looking for to do research or to read. I was always more interested in non-fictional books than novels. I felt I wanted to learn from each book hoping to prepare myself for university after I finished high school, so I usually chose academic books. My favorites were books that taught me a foreign language or books on history, anthropology or archaeology but I also liked reading books of poetry and sometimes short stories.

In college, as some of you may have heard, I studied International Relations focusing on East Asia, and so most of the books I read then were books based on Japanese politics, philosophies and religions of Japan, Japanese history, Japanese literature, etc. I remember reading short stories by famous Japanese writers, such as Yukio Mishima, Haruki Murakami, Kenzaburo Oe, Yasunari Kawabata, Shusaku Endo and other writers of after World War II. I also remember trying to read Tales of the Heike, 平家物語, I want to try to read it in Japanese someday.

I don't know about you, but when I start a book I really dislike stopping in the middle of the book, so I only read a novel when I know I have enough time to finish it from start to finish! So, for now, I like to try and improve my Japanese by reading the Japanese newspaper every day. Reading a newspaper is amazing, because it lets me see what is happening in the world in places I cannot visit yet. Also, reading newspapers from different countries is really exciting. Read the newspaper and find an interesting story to talk to your friends about!!

Teresa Shioda

翻訳

実は、若いころ、私は小説をあまり読んでいませんでした。

中学生のときは、学校新聞を作っていたので、地元の新聞を読んでアイデアを考えたり、他の生徒にむけて面白いお話を書いたり、友達が書いた記事を編集したり、新聞の紙面をデザインしたりしていました。

高校生になると、授業の合間の空き時間で、図書館の本や新聞の整理を手伝ったり、他の生徒のために本を探してあげたりしていました。そのときの私は、小説よりも、事実を基にした本（ノンフィクション）に、とても興味を持っていました。

高校卒業後、大学へ進学するために、本から勉強したいと考え、大体、知識の本を読んでいました。好きな本は、外国語や歴史、人類学、考古学についての本でしたが、詩や短い物語も好きでした。

大学では、東アジアを中心とする国際関係学を勉強したので、もっぱら日本の政治、哲学、宗教、日本史、日本文学に関する本を読んでいました。三島由紀夫、村上春樹、大江健三郎、川端康成、遠藤周作を始めとする、第二次世界大戦後の日本の有名な作家の短編小説、そして平家物語を読んだことを覚えています。いつか日本語でも読んでみたいものです。

皆さんと同じかはわかりませんが、私は、読書を途中で中断しなければならなくなるのが嫌なので、最初から最後まで読み終える十分な時間があるときだけ、小説を読んでいます。また、新聞を毎日読むことで、日本語能力をもっと良くしたいと考えています。

新聞は良いですよ！ 世界中の行くことができないような場所で何が起きているのか、知ることができるのですから。それに、様々な国の新聞を読むと、本当にワクワクします。皆さんも新聞を読んで、友達と話をするための面白い話を見つけてくださいね。